

PEDの侵入から農場を守るために

(有)豊浦獣医科クリニック

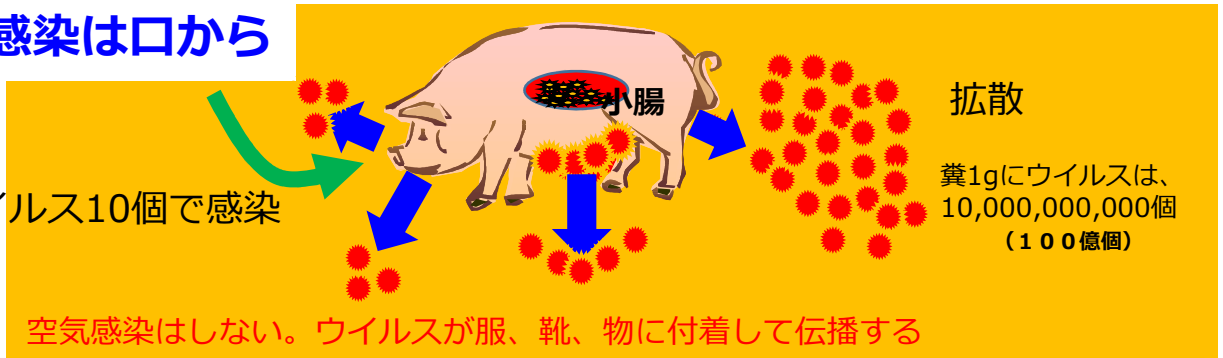
SMC(株)

JASV

PEDの感染は口から



ウイルス10個で感染



ウイルスの生存期間

- ★糞便中：少なくとも4週間・血清中：80% 3～7日・鼻腔：3週間
- ★新鮮便中（相対湿度40%）40℃ = 3～7日、50℃ = 1～3日、60℃ = 7日 + α
- ★スラリー中：20℃ 28日以上
- ★飼料中：室温のウエット飼料→28日以上、室温のドライ飼料→14日以上
(2014/2/11 JASV・Drコーナーセミナー資料より)

人や物が拡げます

入場者の記帳をする
人の制限をする
農場用の長靴・ウェーダーを着用修理を外注する時には、
持ち込む**道具を制限**し、**消毒**を確実に実施したことを確認する
電気の修理、プロパンの交換、油の給油、重機の修理なども消毒をお願いする。



ウェーダー：
長靴とズボンが
一体化している



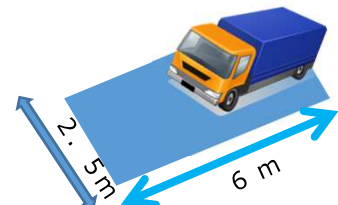
輸送トラックとその運転手の対応



ハンドル・ペダルは
スプレーで消毒



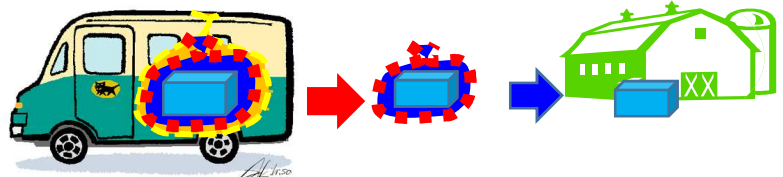
洗浄・消毒



2.5×6mの消石灰エリア

運転手は、**運転席専用**の靴と**外履き用**の履き物を用意する
外履きで移動して、農場が用意している長靴に履き替える
ハンドル・ペダルも消毒薬をスプレーする
入り口の部分には、最低6メートルの消石灰を敷く
車両は、洗浄消毒を実施して入場する

宅急便・医薬品の対応



宅配物は、**二重**に包装をお願いし、届いた時と農場に持ち込むときに包装を除く
医薬品は、農場の外に置き場を準備して、入らないようにする

ウイルスを伝播する



猫、ネズミは農場内のウイルスを伝播させて、農場防疫を難しくしています。

消毒が最強の防御

消毒よりも洗浄が重要

消毒薬は、有機物があると効果が減弱します。
汚れを落とすのは水で十分です。
汚れを落としてから、消毒薬を散布してください。
消毒薬で洗浄していたのでは**もったいない!!**



効果が出てきた地域防疫

市町村、県、JA、そして地域の生産者が協力して消毒ポイントを設置するところが増えました。
それに伴い、**発生が減少**しています。
PEDの防御は、個人では限界があります。地域防疫が重要です。



宮崎の消毒ポイント

消毒力は

1. 汚れを落とす
2. 希釈倍率を守る 冬は倍量
3. ウイルスと接している時間を長くする
どんな消毒薬でも時間が重要です。
逆性石けんは15分以上は必要



石灰をもっと有効に使いましょう

PEDウイルスは、アルカリに弱いので、石灰は簡単で、安価な身近な消毒薬です。
農場の入り口は、最低幅2.5m長さ6mの消石灰散布エリアを設置しましょう。

購入時のポイント

石灰には、消石灰と生石灰があり、消石灰を使う消毒用の消石灰を使いましょう。粒状石灰や樹脂が入った塗る石灰は目的に合わせ使ってください。
(興味のある方ご連絡ください)

消毒薬

グルタールアルデヒド（ヘルミン・グルタプラス）・逆性石けん・塩素系（ビルコン）・四級アンモニウム塩（パワ、アストップ）ヨウソ系（ポリアップ）

上記の消毒薬を併用すると効果を低下させる組み合わせがあるので要注意



写真<http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/search/html/1004631.html>

正しいリスク管理と情報交換

感染拡大と共に、怪情報が拡大することがあります。リスクを正しく理解して
PEDを「持ち込まない、持ち出さない」

個々の力そして地域の力を結集してPEDの脅威から農場を守りましょう
怪しい“ウワサや技術情報”に要注意

不明な点や農場内で異常がありましたら獣医師に御相談下さい